

診療実績のご紹介



札幌清田病院 外科
Department of Surgery, Sapporo Kiyota Hospital

◆ 外科の診療内容

当科は清田地域の外科診療の要として、最新の知識と技術、エビデンスに基づいて、胃癌・大腸癌・胆道癌・膵癌・乳癌などの悪性疾患に対する手術から、虫垂炎・胆石胆嚢炎・鼠径ヘルニアなどの良性疾患に対する手術まで幅広く手術を行っています。

消化器癌に対しては、消化器内科との連携も密にとっており、内視鏡切除から外科切除まで過不足のない治療を提供しております。

◆ 手術件数の推移

手術件数は、コロナ禍を契機に一時減少しましたが、近年は増加傾向にあり年間300例程度となっております(図1)。

特に胆嚢摘出、虫垂切除については過去5年間で開腹移行例はなく全て腹腔鏡手術で完遂しており、低侵襲かつ整容性にも配慮した手術を提供しております(図2)。

◆ 単孔式腹腔鏡手術

当院では2009年より単孔式腹腔鏡手術を開始し、炎症が軽度の胆嚢摘出を中心に2025年までに約650例の手術を行いました(図3)。

胆嚢摘出の約6割が単孔式で行われており、整容性、安全性に優れた手術を提供しております。

◆ 胆石・ヘルニア外来

当院では金曜午後に胆石・ヘルニア外来を開設しております。

鼠径ヘルニアに関しては約96%の症例で腹腔鏡手術を行っており、患者の希望に合わせて1泊2日～3泊4日の入院期間で治療を行っております。

図1 手術件数の推移

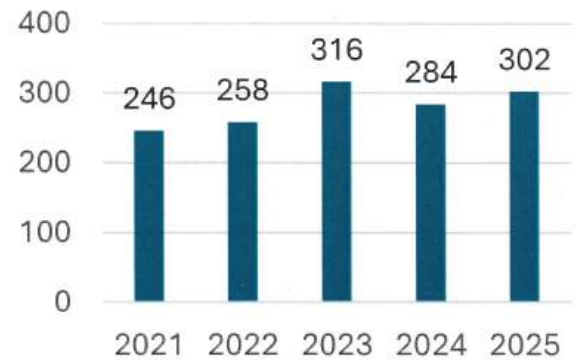


図2

※開腹移行例なし

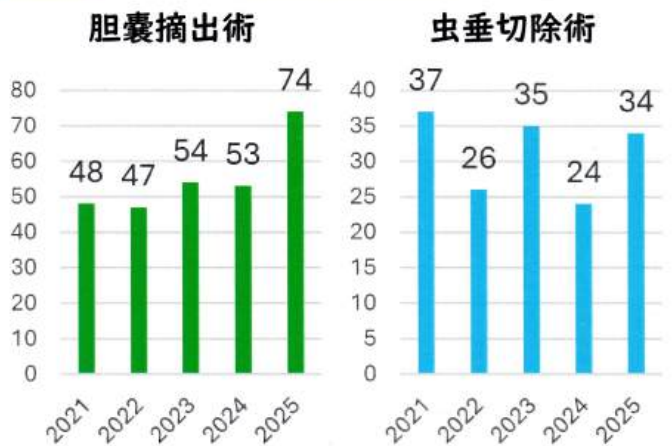


図3

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術



図4

腹腔鏡下ヘルニア修復術

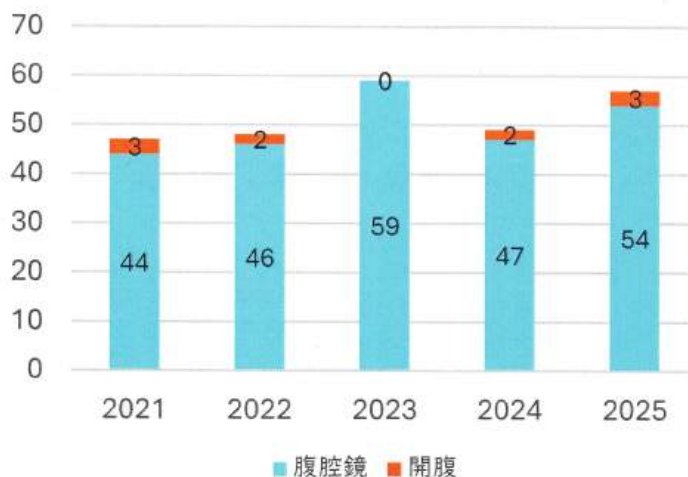


◆ 消化器癌の治療実績

当科では消化器癌に対しても腹腔鏡手術をメインに行っており、胃癌、大腸癌についても9割以上が腹腔鏡手術となっております(図5)。

術後の補助化学療法や、進行癌に対する化学療法後の根治切除も積極的に行っています。近年の奏効率の高い化学療法の開発に伴い、Conversion手術も増えています。

図5 大腸癌手術症例

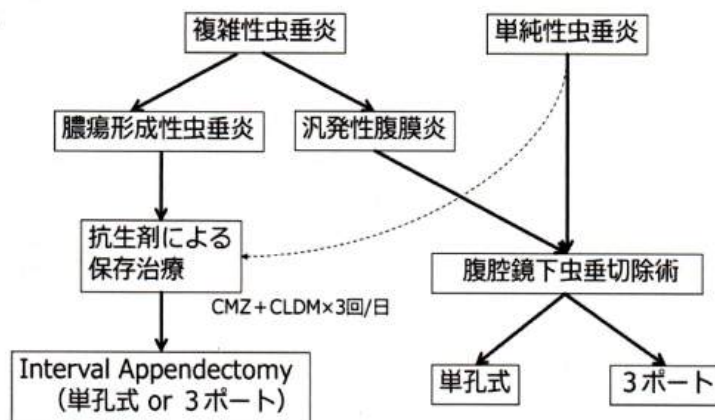


◆ 虫垂炎に対する治療

急性虫垂炎は急性期に緊急手術を行うことが一般的でありましたが、近年、炎症が高度の虫垂炎では抗生剤による保存治療後の虫垂切除術 (Interval appendectomy: 以下IA) が主流となってきています(図6)。

当院でも2016年にIAを導入後、術後合併症が減り、入院期間も短縮し、低侵襲で安全な治療となっています。

図6 当院の虫垂炎治療方針

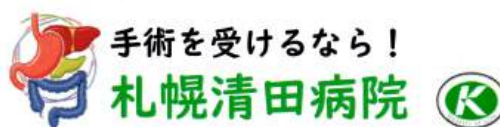


◆ 外科よりメッセージ

札幌清田病院は清田区の数少ない急性期病院として、幅広い疾患分野で地域住民の健康を守る使命を担っていますが、その中でも専門性を活かした高度な診療を提供できるよう努めています。地域の病院・診療所の先生方や大学病院との繋がりを大切にしながら今後も努力していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

◆ 主な全国学会発表実績

- 急性虫垂炎に対するInterval Appendectomyは外科医の働き方改革の一助となりうる。(シンポジウム)
第122回日本外科学会定期学術集会:2022年4月14日-16日:熊本
- A case of pancreatic intraductal papillary mucinous carcinoma developed after successful treatment for portal vein thrombus.
34th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary -Pancreatic Surgery:2022.June 10- 11th Matsuyama
- 当院における中等度急性胆嚢炎に対する早期手術の成績と問題点。
第84回日本臨床外科学会総会:2022年11月24日-26日:福岡
- 急性虫垂炎に対するInterval appendectomyは有用である。(シンポジウム)
第59回日本腹部救急医学会総会:2023年3月9日-10日:沖縄
- Surgical resection for solitary pulmonary metastasis from Vater papillary carcinoma Report of a case.
35th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary -Pancreatic Surgery:2023.June 30-July 1st:Tokyo
- 腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢管合流異常の12例。
第59回日本胆道学会学術集会:2023年9月14日-15日:札幌
- 膿瘍形成性虫垂炎に対するInterval appendectomyの有用性について。
第85回日本臨床外科学会総会:2023年11月16日-18日:岡山



-医師紹介-



矢野 智之 Yano Tomoyuki
副院長

資格:日本外科学会 専門医・指導医,日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員

趣味:温泉,旅行,テニス

略歴:

1993年 北海道大学医学部 卒業

1993年 帯広厚生病院

1995年 名寄市立病院

1996年 北海道大学病院

1999年 手稲溪仁会病院

2006年 北海道大学病院

2007年 札幌清田病院

2013年 札幌清田病院 副院長



川瀬 寛 Kawase Hiroshi
外科 主任部長

資格:日本外科学会 専門医・指導医,日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医,日本乳癌学会 認定医

趣味:ランニング,スポーツ観戦,家庭菜園

略歴:

2002年 北海道大学医学部 卒業

2003年 小樽協会病院

2004年 斗南病院

2006年 北海道中央労災病院

2009年 製鉄記念室蘭病院

2014年 浦河赤十字病院

2015年 北海道大学病院

2016年 札幌清田病院



宮坂 衛 Miyasaka Mamoru
外科 医長

資格:日本外科学会 専門医,日本消化器外科学会 専門医

日本消化器病学会 専門医・指導医,日本内視鏡外科学会 技術認定医

趣味:スポーツ観戦

略歴:

2013年 札幌医科大学医学部 卒業

2015年 製鉄記念室蘭病院

2016年 市立旭川病院

2017年 北海道大学病院

2020年 斗南病院

2026年 札幌清田病院



札幌清田病院ホームページ



社会医療法人

札幌清田病院

〒004-0831 札幌市清田区真栄1条1丁目1-1

TEL:011-883-6111

FAX:011-882-7477